

つよきつん

及考

仲津例よ私るか〜

今世の世に

[Faint bleed-through text from the reverse side of the page]

四方のたの光

年立之終り〜

うちらる基のさ〜

はかぬの〜

うすみ初光たるま〜

〜あまさば何れと〜

或年事多れと〜

日のもるんと〜

里の由〜

はよれる時代の春〜

うきよの民の家く西も吹上の津屋樹木松ほく
うきよの民の家く西も吹上の津屋樹木松ほく
うきよの民の家く西も吹上の津屋樹木松ほく

立るゆゆ松の縁もまよひ思春とむしり家志
るしるもくしん遠く南とくれもあ度上徳のしんま
倉よそくしんのしんまもくしんかきしん陣風
もるれくは申しかよみつきのしんまの敷
けしんあおれとぬおほくしんまのぬくしんま
てしんかしんましんましんましんましんま
大君のしんまはあはれもあはれもあはれも

はる乃海辺を我申くしんま常盤木の梢より波波
しんまのしんましんましんましんましんま
春るかく残れ家申れの波波しんまのしんま
風をきしんましんまかよあゆのむ地しんま
たりれもしんまかきしんまのしんましんま
色くもあしんましんましんましんましんま
秘もたしんましんましんましんましんま
としんまかきしんましんましんましんま

文化よりのしんましんま

正都